辻川町は有名な日本の学者で民俗学者であった柳田国男(1875－1962)の生誕地である。彼の幼少の頃の家は今，福崎市によって所有され，一般に公開されている。

地域の伝承の研究において，柳田は｢妖怪｣，すなわち超自然界の生き物に関する伝説物語に特に興味を示した。従って，近所にある辻川山公園にはたくさんの｢妖怪｣の像と二つの動く｢妖怪｣のアトラクションがある。15分ごとに3匹の河童(川に住む妖怪)が池から出てきて，数分後翼を持つ｢天狗｣が小さな塔から飛び出す。公園の周囲にある看板にそれらの像の説明があり，そこに住んでいる特定の｢妖怪｣を特徴付ける話も含んでいる。